

大牟田	市政調査費により購入している会派がある。
飯塚	会派控室の数に合わせた台数を用意している。(7台)
行橋	正副議長に各一台支給
前原	政務調査費で購入している議員あり
唐津	政務調査費により設置している会派もある。
鳥栖	政務調査費で購入している会派がある。
武雄	政務調査費によるパソコンのリース(購入は不可)は可能。
大村	政務調査費によるリース契約で導入している会派有り
福江	政務調査費で購入
玉名	インターネットに接続できるよう会派控室まで配線はしている。
出水	政務調査費を利用し、個人で購入している例がある。
野田	会派に交付している政務調査費で購入している会派もある。

[5] 議会のバリアフリー化について

1. 議会のバリアフリー化の実施状況

平成16年6月現在における議会のバリアフリー化の実施状況は表-51のとおり。
実施しているのは515市(73.4%)、実施していないのは186市(26.5%)。

表-51 議会のバリアフリー化の実施状況(701市対象)

(単位:市)

区 分		実施している	実施していない
5万未満 (225市)	市 数	122	103
	構成比(%)	54.2	45.7
5～10万 (232市)	市 数	173	59
	構成比(%)	74.5	25.4
10～20万 (124市)	市 数	107	17
	構成比(%)	86.2	13.7
20～30万 (43市)	市 数	38	5
	構成比(%)	88.3	11.6
30～40万 (28市)	市 数	27	1
	構成比(%)	96.4	3.5
40～50万 (18市)	市 数	18	0
	構成比(%)	100.0	0
50万以上 (18市)	市 数	17	1
	構成比(%)	94.4	5.5
指定都市 (13市)	市 数	13	0
	構成比(%)	100.0	0
計 (701市)	市 数	515	186
	構成比(%)	73.4	26.5

2. 議会のバリアフリー化における施設・設備の整備状況

議会のバリアフリー化を実施している515市の施設・設備の整備状況は、「車いす専用演壇」が13市（701市に占める割合1.8%）、「車いす専用議席」が25市（3.5%）、「車いす専用傍聴席」が291市（41.5%）、「車いす対応エレベーター（車いす用リフト含む）」が249市（35.5%）、「車いす用スロープ」が185市（26.3%）、「多目的（車いす用）トイレ」が241市（34.3%）、「点字ブロック」が45市（6.4%）、「イヤホン（難聴者用ループコイル等）」が105市（14.9%）、「（必要に応じて）手話通訳」が122市（17.4%）、「声の議会だより」が232市（33.0%）、「点字議会だより」が112市（15.9%）、「介助者、補助犬（介護犬・盲導犬等）の同伴を認めている（事例がある）」が97市（13.8%）、「その他」が37市（5.2%）。（複数回答）

車いす専用演壇を設置しているのは、秦野市、厚木市、伊勢原市、さいたま市、名古屋市、豊中市、尼崎市、宝塚市、川西市、大牟田市、八女市、沖縄市、静岡市の13市となっている。

車いす専用議席を設置しているのは、北見市、美咲市、いわき市、鯖江市、飯山市、茅野市、大田区、足立区、鎌倉市、秦野市、厚木市、伊勢原市、松戸市、瀬戸市、豊中市、泉大津市、尼崎市、宝塚市、徳島市、久留米市、八女市、古賀市、熊本市、糸満市、静岡市の25市。

声の議会だより・点字議会だよりについては、主に、市の社会福祉協議会によるものか、ボランティア団体の協力によるもの。

なお、介助者、補助犬（介護犬・盲導犬等）については、議員及び傍聴者に対するものとなっている。

① 議会におけるバリアフリー化のその他の状況については以下のとおり。

札幌	集団補聴システム（補聴器の周波数を合わせることで聞きとりやすくなる。）
芦別	傍聴席への階段が急こうばいのため、手すりを設置している。
八戸	車椅子利用者に対して議員応接室のモニターテレビを視聴できるようにしている。
いわき	車椅子使用の議員が登壇する際は、演壇にスロープを設置できるようにしている。
新潟	各会派室、委員会室の表記に点字プレートを設置
長岡	音声標識ガイド装置を設置、視覚障害のある議員の議場へのパソコンの持ち込みを許可。
松任	本会議中、常時手話通訳している。
諏訪	必要に応じて要約筆記通訳（傍聴席に長机を用意する。）
塩尻	傍聴席でのパソコンによる要約筆記
昭島	施政方針演説における手話通訳の配置
東久留米	車椅子対応演壇（演壇が上下し、フラットになる）
渋谷	傍聴席階段横に手すり設置
足立	演壇に昇降機が設置されている。
江戸川	映像傍聴室の確保（車椅子等議場傍聴が困難な方のため、委員会室で映像による傍聴を実施）
横浜	車椅子でも利用可能な上下可動式演壇と登壇用スロープ設置
相模原	車椅子で傍聴席に入れる様に、傍聴席入口を変更
前橋	エレベーターに点字表記
川越	手すりを設置
坂戸	イス式階段昇降機
吉川	ボランティア団体が声の議会だよりを発行している。
鎌ヶ谷	傍聴席入口の階段にてすりを設置
君津	改善していないが構造上では、車椅子で議席及び傍聴席に入ることができる。
名古屋	視覚障害者の本議会傍聴に際して、盲導犬の帯同を認める。

半田	点字の一般質問通告一覧表
豊田	車椅子対応エレベーター、車椅子要スロープ、多目的トイレ、展示ブロックは庁舎用施設として、対応されている。
久居	傍聴席入口に老眼鏡の設置
岐阜	車椅子専用演壇については車椅子のまま利用出来るように演壇を昇降式にしている。 介助者の同伴を認めることについては前例はないが申し出があれば議長の許可により認める方向となっている。
門真	手話通訳の配置を許可した事例がある。
摂津	車椅子用自動扉（引き戸方式）
海南	傍聴入口への手摺りの設置
笠岡	手話通訳については事前に要請があれば福祉担当課が対応します。声の議会だよりについては市民ボランティアが毎号、音訳されています。
大竹	庁舎内ロビーでのTV中継
北九州	手話通訳の依頼があった場合、北九州市身体障害者協会を紹介し直接申し込んでもらう。 介助者（手話通訳等）の同伴も認めているが、介助者も傍聴人として取り扱う。 盲導犬については、該当する事例がないため具体的な対応方針は定めていないが、申し出があれば対応を検討する。
福岡	市議会だよりフロッピーディスク貸出（視覚障害者向け） 本会議録フロッピーディスク貸出（視覚障害者向け 音声変換用） 議会月報フロッピーディスク貸出（視覚障害者向け）
大牟田	議席における椅子を取りはずして車椅子が入るようにしている。
長崎	議場入口（外部）までの通路のスロープと歩行ブロックの付設
熊本	昇降式演壇（車椅子対応）
宇土	議場の改築が困難なため平成15年9月定例会により市役所1Fロビー、2ヶ所の支所にテレビモニターを設置し、本会議のライブ中継により対応している。
宮崎	演壇へ通じる通路と、議席へ通じる通路にスロープを設置している。
小林	車椅子の方に限って、操作盤横の通路で3名まで傍聴（本会議）できます
静岡	公務会議については身体障害者のある議員には介助職員がついている